



No. 79

編集/発行:日本スポーツ用品協同組合連合会
〒111-0053 東京都台東区浅草橋5-8-6
東京スポーツ会館 301号室
☎ 03-5829-6490 FAX 03-5829-6491
ホームページ <http://www.jsera.jp/>
E-mail jsera@jsera.jp

《2017/8~2018/7のスローガン》
個性、と創造、で時代が求める新しい流れを！



あいさつ

JSERA・日本スポーツ用品協同組合連合会

理事長 重森 仁

10月12日、今日はJSERA全国大会、53年前は、東京オリンピックの真最中でした。ここ東京で大会を迎えられたことはスポーツ用品の組合として誠に意義深いことであります。そして3年後には再びあの感動が甦ってきます。また、各界からご来賓の方々のご臨席を賜り、多数の関係各位のご出席のもと、開催できたことは重ねての慶びでした。鈴木スポーツ庁長官の力強いメッセージ、寺川キャスターの本音のトーク、どれもがスポーツ店へのエールを超え、組合員の魂を揺さぶるものでした。

さて、われわれの業界の未来は如何でしょうか。比較的しっかりした統計が残る中体連調査で考えてみましょう。男子の軟式野球は平成22年では29万1千人の生徒数でしたが、平成28年では17万5千人です。6年間で3/5程になってしまいました。野球の将来を暗示しているようです。これではいけないということで、業界挙げて、野球の発展を目指そうと協議会が発足し、活動が始まりました。JSERAにおいても島根の全国大会において、島根の浅津理事長、鳥取の尾坂理事長さんらのご努力下、ティーボール

協会の吉村理事長をお招きし、野球の発展には、学習指導要領へのベースボール型スポーツの採用、とりわけ体育の授業に相応しく全員の運動量を高めたティーボールの取り組みが大切であること。また、ティーボールは野球のみならず、ソフトボール、テニス、ゴルフ等の競技への導入にも有効であるとのお話をいただきました。JSERAも取り組みをいたしました。あまり成果は得られないまま今日を迎えましたが、今年、近畿ブロックで大きな動きがありました。8月5日（土）滋賀県竜王ドームにおいてJSERA近畿ブロック主催の近畿ティーボール大会が開催されました。減少する野球・ソフトボール人口の回復という趣旨から対象は小学3年生以下で、できるだけ野球・ソフトボールに関わっていない子供たちを集めようとの想いをもって各府県より原則2チームの参加で行われ、大いに盛り上がりました。それに先立ち5月には、25人ほどの組合員が講習を受け、ティーボール指導者の資格を取り、本大会に備えました。また、安全に集合していただくため、バス代の補助も行なわれました。当日は和歌山でティーボール

に取り組む木村様（旧姓石井、箕島高校で活躍、プロ野球へ）、女子プロ野球の方々のご支援をいただき、試合を重ねるごとに次第に審判の腕も上がり、大変充実した大会になりました。子供たちが盛り上がったのはもちろんですが、保護者まで熱狂し、その姿は些か恐怖心を抱くほどでした。「来年もやりたいね」とは辻川ブロック長の話でした。

もう一度、中体連の調査を見てみましょう。確実にスポーツ離れは進行しています。中体連調査では、運動部の加入率は、女子でかつて60%を超えていましたが、現在は下げ止まっているものの、53から54%にとどまっています。男子は平成25年頃まで75%維持していましたが、今では73%代に下がっています。サッカーやバスケットボールのように比較的人気のあるスポーツでも安泰ではありません。サッカーは平成25年、25万4千人をピークに減少し、今年の速報値では21万2千人です。毎年1万人ほど減少しています。バスケットボールも平成27年をピークに減少しています。子どもたちのスポーツ人口は、「少子化」*「スポーツ離れ」の掛け算で減少していきます。JSERAは、ソフトバレーボール、グランドゴルフ、テニール大会などをブロック行事として行っています。メーカー様、卸様もそれぞれ努力されています。今こそ野球のように業界挙げて連携してスポーツ振興に取り組むべき時だと思います。私は、「三層の協力、ここにあり」と思います。鈴木長官、寺川キャスターが語ってくださった「すべての人にスポーツの楽しみを！」の心あれば、傍若無人な振る舞いをする企業は減ることでしょう。

更に、JSERAは、スポーツ振興のベースとして、「安心、安全の場」の構築にも取り組んでいます。スポーツは本来ダイナミックでスリリングである故、ケガもつきものです。けれども、販売業者として少なくとも用器具にまつわ

る事故だけは低減したいとの思いで「スポーツ用器具管理アドバイザー」制度の普及に取り組んでいます。現在300名ほどの方が合格されました。11月には、初めての卸様との連携で講習・認定会を予定しています。種まきは終え、これから育て、実を結ばせていきたいと思います。各場面で業界が連携してスポーツ振興に取り組んでいく事ができれば嬉しい限りです。皆様の一層のご支援、ご協力をお願いします。東京オリンピック・パラリンピックに向け、そしてその後も見つめ、スポーツ進行に取り組みたいものです。

末尾になりましたが、今回の全国大会の演出をいただいた関東ブロック、とりわけ東京組合の皆様のご努力に心よりお礼申し上げつつ、意義あるスタートにしたいと思います。宜しくお願い致します。



第 18 回 定時総会 東京大会をおえて



東京スポーツ用品専門店協同組合

理事長 佐藤 昌一郎

長雨がつづきますが皆様方におかれましてはパワフルにエキサイティングにご活躍のことと存じます。

10月12日（木）錦糸町東武ホテルレバント東京にて開催の「JSERA 第18回 定時総会・全国大会・東京大会」には大勢のご来賓の皆様方を始め、北は北海道から南は九州・沖縄のスポーツ店の仲間の皆様方に大勢、お忙しい中ご参加して頂き誠に有難うございました。感謝しております。

約2年前から用意を進めてきましたが、全てが初めてのことでなかなか進まず東京ならではのいろいろな諸事情もあり、あっという間に当日になってしまいました。当日は当日でコレどうしたっけ？時間大丈夫？次の準備間に合う？などなど予定外のことがおき、気をはってるし緊張もして、きがつけば終わってました。

まず東京の組合員の皆様に感謝！そして参加された皆様方に感謝です！



スポーツ庁
鈴木 大地 長官

そして今回の研修の部・講演会1部は鈴木大地スポーツ庁長官に「スポーツビジネスの拡大について」ご講演頂きました。スポーツ店にとってもためになるお話や、子供は幼稚園児ぐらいからスポーツをさせないと運動能力が決まってしまうなど、スポーツ店がいろいろと提案できるヒントも頂きとても楽しく参考になりました。質問にも答えて頂き有難うございました。われわれの組合からスポーツ庁に提案し何か出来ればいいな！

と思っています。

講演2部は解説やCMなどでもご活躍の寺川綾様に「世界への挑戦」についてご講演頂きました。3歳から水泳を始めオリンピックを目指し何度かの挫折を乗り越えメダリストになったお話をして頂きました。勝つ為には技術や能力だけでなく「心」「気持ち」が大切とお話されました。非常に共感するところがありわれわれの商売にも通じるものがあると思いました。寺川様には組合員の女性を交えてのディスカッションにも参加して頂きました。女性の皆様の思いやアドバイスなども聞けて大変ためになり良かったと思います。今後も研修の部に女性ならではの企画があると良いと思います。

ともに学び成長し次の世代に誇れるような、次の世代がやってみたくなるような「カッコよく・楽しく・いかした」店になるように頑張ってください！ネクストチャレンジ・笑顔で挑戦！

参加して頂きました全ての皆様に感謝致します。有難うございました。





感謝状贈呈・功労者表彰名簿

◎ 感謝状贈呈

NO.	行 事	年度	組 合 名	理 事 長
1	国 民 体 育 大 会	29	愛媛県スポーツ用品協同組合	石 田 治
2	全 国 高 校 総 体	29	宮城県スポーツ用品協同組合	早 川 純 一
		29	山形県スポーツ用品小売商業協同組合	渡 部 政 雄
		29	福島県運動具商業協同組合	渡 辺 恭 一
3	全国中学校体育大会	29	福岡県スポーツ用品小売商協同組合連合会	武 宮 兼 敏
		29	佐賀県スポーツ用品協同組合	小 池 正
		29	長崎県スポーツ用品協同組合	森 彰 夫
		29	熊本県スポーツ用品協同組合	福 島 誠 剛
		29	大分県スポーツ用品協同組合	相 良 貢 吉
		29	宮崎県運動具商協同組合	岩 満 一 臣
		29	鹿児島県運動具小売商協同組合	丸 山 修
		29	沖縄県スポーツ小売商組合	城 間 力
4	JSERA 全 国 大 会	28	和歌山県スポーツ用品小売協同組合	瀧 本 明 生

◎ 功労者表彰

NO.	所 属 組 合 名	氏 名	店 名
1	北海道スポーツ用品小売商組合	秋 山 俊 彦	(有) ス ポ ー ツ ピ ア
2	岩手県スポーツ用品専門店協同組合	佐 藤 佳 明	(有) サンエススポーツ
3	栃木県スポーツ用品販売協同組合	穴 戸 幸 市	(有) フ タ バ ス ポ ー ツ
4	群馬県運動具商協同組合	市 川 三 男	ス ポ ー ツ ハ ウ ス 市 川
5	東京スポーツ用品専門店協同組合	横 山 典 男	(株) サ ン ウ エ ル
6	神奈川県運動具商協同組合	会 田 公 雄	(有) アイダスポーツ
7	石川県スポーツ用品協同組合	吉 本 瑞 男	(株) 太 陽 ス ポ ー ツ 金 沢
8	福井県スポーツ用品協同組合	室 谷 隆 夫	(株) オ ザ キ ス ポ ー ツ
9	静岡県スポーツ用品商業協同組合	大 石 健 太 郎	グ リ ー ン ス ポ ー ツ (株)
10	愛知県スポーツ用品商業協同組合	井 上 真	井 上 ス ポ ー ツ
11	愛知県スポーツ用品商業協同組合	加 藤 徳 太 郎	加 藤 ス ポ ー ツ
12	岐阜県スポーツ用品協同組合	岩 崎 良 吉	岩 崎 ス ポ ー ツ
13	奈良県運動用具小売商協同組合	松 田 修 一	(株) マ ッ ダ ス ポ ー ツ
14	岡山県運動具商協同組合	小 原 ト シ エ	(株) ミ キ ヤ
15	愛媛県スポーツ用品協同組合	萩 森 幸 輝	(有) スポーツメイトホソイ
16	宮崎県運動具商協同組合	堀 之 内 英 介	(有) 堀 之 内 ス ポ ー ツ 店

全国大会に参加して



東京スポーツ用品専門店協同組合

理事 柳澤 昭子

思い起こせば、全運小連より歴代理事長、魚見氏、石井氏、竹内氏、後関氏、現在の佐藤理事長まで、30年もの長きに渡り理事として暖かく励ましとご指導を受けて楽しく活動して来ました。

佐藤理事長、小寺副理事長、中山専務理事達の綿密な計画と算出と交渉、打合わせを繰り返し今年5月に故人となられた相談役河野壽雄社長（河野スポーツ）のご助力のお蔭で鈴木大地長官をお招きし、河中副理事長が寺川彩様の出演のお膳立

でも決定しました。今回初めての女性ディスカッション。壇上へと移り、微力な私が日常している接客話して参加させていただきました。

少人数の会員が気持ちを合わせ一致団結で成果が上がり、無事終了出来た事何よりもうれしく思いました。女性の会ではJSERA専務理事の土赤様のご指導とお力添えを感謝して明日に向かいます。

本当に有り難うございました。



北海道・東北ブロック総会

山形県スポーツ用品小売商業協同組合

理事長 **渡部 政雄**

6月20日北海道・東北ブロックの定時総会を開催しました。

開催地は山形県上山市日本の宿古窯です。今回の総会は、来年度に日本スポーツ用品組合の全国総会が当ブロックの福島に於いて開催される予定です。この議題については参加者全県の組合が協力する決議で賛同を得られました。その後も全議案が決議され、閉会となりました。



JSERA 理事長 重森 仁



北海道・東北ブロック会長 早川 純一

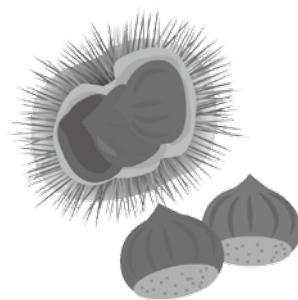
研修会（53名の参加）では、会場となりましたホテルの歴史、女将の現在に至るまでのお話があり、商売人にとっては大変勉強になり、盛会のうちに閉会しました。



日本の宿 古窯 創始者 佐藤 幸子 氏

一番面積の広いブロックでの総会ですので開催組合については大変な苦勞があり、参加県組合の協力なしではできない総会を開催していただく関係各位ありがとうございます。

次の日は観光とゴルフ大会参加者一同満足して来年の全国大会成功を約束して解散しました。



中部ブロック協議会の報告



福井県スポーツ用品協同組合

理事長 小林 利一

平成 29 年 6 月 7 日、JSERA 中部ブロック協議会福井大会を福井県福井市ホテルフジタ福井で開催致しました。

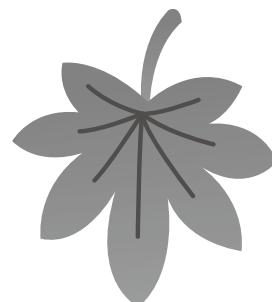
来賓として大阪スポーツ用品卸商業組合井本忠嗣理事長、東京スポーツ用品工業協同組合羽田野洋副理事長、日本スポーツ用品協同組合連合会重森仁理事長の 3 名の方々に参加頂きました。来賓 3 名、メーカー、卸 12 名、組合員 43 名の合計 58 名の出席による大会になりました。

定時総会は、澤田中部ブロック会長、重森 JSERA 理事長の挨拶の後、平成 28 年度事業報告、会計報告並びに監査報告が行われ、さらに平成 29 年度事業計画案等が案議され全員一致で承認されました。また、次期開催県を静岡県に決定し議会を終了致しました。

総会終了後、三層協議会が行われました。三層協議会では、メーカー代表の羽田野洋東京工組副理事長、大阪卸組合井本理事長に挨拶を頂き、続いて各県組合理事長から各組合の活動状況が報告され終了致しました。

続いて研修会が行われました。研修会では、2 部構成で、第 1 部は梅本泰則先生の「地域スポーツ店の活性化こそ事業発展のカギ」の題目による講演。第 2 部は今話題の福井商業高校チアリーダー部（JETS）の顧問、五十嵐裕子先生より、「人を育てる」をテーマにした講演をして頂きました。

その後、懇談会に移り、日本海の幸を皆様に食べて頂き、楽しいひと時を過ごすことができ、中部ブロック福井大会を無事終了することができました。



※新理事長紹介※

■組 合 名…石川県スポーツ用品協同組合

■理事長名…西 永 光 範

- (1) 血 液 型 …………… O 型
- (2) 自分の長所 …………… おおらか
- (3) 自分の短所 …………… 大雑把
- (4) 自分にとっての座右の銘 …… なし

(5) 今後組合活動について取り組みは？

当組合の目的である「組合員の相互扶助の精神に基づき、組合員のために必要な共同事業を行い、もって組合員の自主的な経済活動を促進し、かつその経済的地位の向上をはかること」を達成する為の取り組みを粛々と行っていきます。

また、事務負担の軽減・組合員の時間的負担を軽減する為の年間行事のあり方の見直し等を進めていきます。

▶ 高 校 総 体

インターハイの販売、今後の課題



宮城県スポーツ用品協同組合

理事長 早 川 純 一

平成 29 年 7 月 28 日山形県山形市で全国高等学校体育大会（インターハイ）が開式をされ、8 月 20 日までのロングランで開催されました。本年度は南東北（山形県、福島県、宮城県）三県合同開催と称され広範囲の大会です。

私たちの仕事は、お決まりの商品の販売ですが、販売は最後の手段であり、本来の仕事は一年以上前から大会実行委員会とのお話し、調整でありました。なぜかと申しますと、テントの販売位置により、売上が大きく上下します。特に宮城県は 8 月に入り毎日雨天等が続き最後まで売上が伸び悩み、担当者等は大変厳しい販売結果でございます。それでも、福島県、山形県に於きましては計画通り売上達成と、なんとか組合事業

としてほっとしている気持ちです。販売は屋外です。実行委員会と密にお話しして、最悪（雨、台風）の状態を考えて、最終的に最良の位置を確保することと反省しています。

また、長期間販売していただきました組合の皆様、ありがとうございました。



全中大会を開催して



九州ブロック

会長 丸山 修

平成 29 年度全国中学校体育大会九州ブロック大会が九州、沖縄県で開催されました。この 8 県ですべての競技が分散開催となるので、報告の内容が総論的になること、お許し下さい。

いわゆる 3 大会と呼ばれる、国民体育大会、全国高等学校体育大会、そして全中大会とこれらの大会は毎年開催ブロックが変わりますが、いずれの大会にも JSERA 及び JSEC がかわる大きな事業である事に変わりはありません。全国都道府県ブロックでは数年に 1 回何らかの大会が開催されます。

そこで各県小売組合を加えた、この 3 者は運命共同体として最大の努力協力のうえ、特に組合は数年に一度回ってくるこれらの大会での販売で最大の利益を上げられるよう JSERA、JSEC 様の指導を仰ぎながら、今日まで行動して来たと個人的には思っております。

今年度は JSEC さんの担当が直前に河上氏に交代することとなり、少々心配しましたが、これは全くの杞憂でした。昨年度までの、どの大会よりスムーズな流れができました。河上さんの先手先手の行動企画力と、細やかなご協力に心から感謝しています。

大会関係者が望む事、選手は勿論、お客さんも喜び大会が盛り上がり成功裏に閉会を迎えることです。結果として関係するすべての人々が満足することとなります。

とは言え大会においては、いろいろな予期せぬトラブルは必ず発生するものです。これをしっかり受け止め最善の解決をはかる事を第一義とすれば道は開けるものと改めてわかりました。

全国理事長会議等、別の機会に気を付ける事、反省点は次年度開催の中国ブロックの方々にお伝

えしたいと思います。

さて、全中大会は各県の理事長先生をはじめ前年の開催地を下見研究しての開催という事になりますが、大会開催のプレッシャーは、大きいと思います。学校と言えども役所であると痛感しました。

そういう訳か、我々組合員は思いのほか県中体連から頼りにされることが多くある程度報告さえしていれば自由に組合に任せて頂いたようです。中体連事務局としては競技の運営に専念したい意向が各県強かった事かもしれません。

売店の場所等の決定も大まかな指示は受けましたが、組合の意向で運営できた県がほとんどでした。

そういう意味ではかねてとはまた違った状況で、地域の小売店同士の競争とは別に一緒になって協力できる良い機会を与えられたと感謝しています。

8 月のお盆明け直後からテントの設営が始まります。いよいよ本番という事になりますが 7～8 割はこの段階で到達したようなものです。

商品の搬入は組合販売の NES 商品を含めて各メーカー一斉に始まるので、前もって販売のメーカーの場所の決定をし、テントにメーカー名の紙を貼っておくのが良いでしょう。

スムーズに搬入できる様、組合の権限を強く発揮する事が特に大事です。

また熱中症対策、太陽とテントの輻射熱半端なものではありませんでした。大きめのクーラーボックスの中に多量のスポーツドリンクと大量の氷を準備したほうが良いと思います。以上大まかな内容で恐縮ですが報告と致します。





国体を開催して



愛媛県スポーツ用品協同組合

理事長 石田 治

会期前の弓道と水泳競技から始まり、九月三十日の開会式から十月十日の閉会式までの十一日間は、あっという間に過ぎ去りました。台風十八号の襲来で水泳競技が一日短縮を余儀なくされ、十月二日は降雨でテニス大会やソフトボール大会に影響が出るなどしましたが、概ね好天に恵まれ、大過なく終了する事ができ、組合員、JSEC、NESの皆様に感謝している所であります。

我々組合の中では三年前より、この「愛顔つなぐえひめ国体」を機に法人化を目指そうという機運が高まり、組合員総意の基、五人の役員が何度も中央会に足を運び、この四月二十日に登記を完了した次第です。私が初代理事長を拝命しましたが、愛媛県は二年毎に理事長が変わる事になっており、国体の年は松山市の組合員が理事長になるという申し合せが以前からあり、私に大役が巡ってきたのであります。

愛媛県での国体開催は、昭和二十八年に四国四県で開催されて以来で、愛媛県単独開催は初めての事です。私も新潟国体、千葉国体、岐阜国体、東京国体（三宅島）、岩手国体のトライアスロン競技の応援には行きましたが、全体の雰囲気は全然分かりません。我々組合員も、高校総体、全中大会の経験はありますが、国体の売店は一体どんなものなのか知る由もありません。百聞は一見に如かずで、和歌山国体を見学に行こうと言う事になり、一昨年、十一名の組合員と一泊二日で紀州和歌山に出かけ、競技日程と会場の距離の関係で、ハンドボール、バドミントン、陸

上競技会場を視察して参りました。

昨年は、萩森前理事長と岩手県を訪問し、藤澤実行委員長と八森理事長に国体開催中のご多忙の中、北上市の陸上競技場近くのホテルをセッティングして頂き、そこで分厚い資料を頂戴し、注意点等を懇切丁寧に説明して頂き、非常に参考になりました。また、今年二月のJSERA国体情報伝達会議に出席し、改めて岩手県の資料を拝見し、ご意見を拝聴し、身の引き締まる思いで愛媛に帰って来たのを思い出します。

国体開催に向けて、売店担当店の割り振りから始まり、JSEC河上氏と各地区担当者の実行委員会への訪問の調整、実行委員会への申請書の作成から提出と慌ただしく過ぎ、本番を迎えました。日々の売上の管理も私が引き受けましたが、若手の役員が急遽作ってくれた売上日報が役立ちました。各会場の組合及びメーカーの売上、販売員名簿、立替経費が記載されるようになっており、FAXで続々と送られて来る日報に記載された売り上げを、毎晩八時からJSECのエクセルに入力していきましたが、どうしても昨年対比の売り上げが気になるものです。台風の影響で水泳競技の売り上げが激減していて、前期の競技が終わり、組合とメーカーの合計が前年の総売り上げの三分の一位の金額で落胆していましたが、後期の競技が始まり、バレー、ソフトテニス、陸上競技等が貢献し、徐々に上昇気流に乗り、組合の売り上げは前年並みで終える事が出来ました。会員の愛顔の販売とNESのタイムリーな納品の賜物です。



国体期間中の十月二日、来年度開催の福井県から竹原副理事長や小林理事長ら四名が土砂降りの雨の中、視察のため愛媛県にお越し頂きました。岩手県とは違い薄っぺらな資料をお渡しし、私の分かる範囲で説明を致しましたが、岩手県のようなきめ細かい説明ではなく、慌ただしい短時間の対応で誠に申し訳なく思っております。来年の福

井県の成功をご祈念申し上げます。

現在、月末の障害者スポーツ大会を残すのみとなりましたが、国体の売店販売の事業を通じて、前にも増して組合員が一致団結し、新生「愛媛県スポーツ用品協同組合」の新たなスタートが切れたと自負致しております。

▶ 仲間のうごき

シリーズ 失敗から学んだこと

2. テニス・バドミントン 売場から学んだこと



(株) アベスポーツ
代表 阿部 貴行

前回の会報で、『スイム売場の失敗から学んだこと』というテーマで投稿させていただきました。連載は4回あるということで、大変なことをお受けしてしまったと後悔しておりますが、失敗の数には自信がありますので、今回も売場での失敗について書いてみたいと思います。

1. 『動きが遅れている』と『他店の販売価格』 に売れない理由を求めると危険な兆候

以前 当社でも月次での販売会議を行っていました。基本的には、昨年実績と本年の実績の差異を分析し、特に売れない理由を見つけ、対応策を取るというものです。この際に、語られる理由で

多いのが、『今年は仮入部時期の問題で、動きが遅れている』や『近郊のBスポーツが25% OFFをしているので、価格競争で負けてしまった』という類の分析です。もちろん そのような理由もないとは言いませんが、今にして思えば本質的な問題ではありませんでした。なぜなら、遅れているだけなら、翌月にその需要が取り込めるはずですし、価格を合わせても決して販売量が伸びるわけでもありません。むしろ、一度値下げをした商品を上げることは大変な労力がかかります。テニスラケットならば、売れ筋商品が欠品したままになっていたり、シューズならば26 26.5という商品がサイズ切れになっているケースが問題でした。もちろん フォローをかけても入ってこない

という問題が明確になり、ファーストオーダーの重要性やそのための方法論、また期中の商談が必要になるといった解決策まで時間がかかるのですが、客先やライバルといった外的要因に逃げるのではなく、内的要因に目を向けることが実は一番確実なやり方だと今は思っています。



2. 見てわかる差別化とは？検証できない 自社のストロングポイントは逃げ？

当店は、軟式テニスとバドミントンが扱う商品ですので、対象顧客のメインは第一に中学生で第二が高校生です。彼ら 彼女らの大切なことは、見た目の違いです。

以前 大型量販店と街のスポーツ屋の違いは？

と聞かれ、繋がり接客です！と答えていました。果たして、それは重要なことでしょうか。それは相手が望むものでしょうか？もしかしたら、品揃えや価格で勝ち目が無いので、心の拠り所になっているだけではないでしょうか？

以前 ゼットにおられた山田副社長が当店に来店されました。開口一番『なぜ アベスポーツでは、ガット張りの出来上がり日が表示されていないの？ イエローハットでもカメラの北村でも出来上がり日は時間まで一目瞭然ですよ』と言わ



れたことがあります。

もちろん 技術や加工のスピードを競うものでは分かりませんが、見てわかるメリットが必要だということを言いたかったのだと思います。うちでは、昨年から売場の最も目立つ場所にキャップを陳列しています。これもラケットの品揃えで競えないけど、キャップだけは友人とバッチィングしない商品が選べるよ！というメッセージです。見た目の差別化ですね。

また、中学生のテニスの試合会場に行くと、ほとんどの選手が持参するラケットが1本のみなので、購入した際の付属のヨネックス・ミズノのケースばかりです。うちでは『一打入魂』の刺繍を入れていましたが、思いの他好評ですので、刺繍機を購入して個人名まで入れるサービスを来年から始めます。売場でも付属品でも見た目の違いをどう出すか 非常に重要なポイントだと思います。



後継者の「思い」

福岡県北九州市 (株)門司スポーツ商会

代表取締役 遠藤 謙太

この度、北九州スポーツ用品協同組合の理事長に任命されました(株)門司スポーツ商会の遠藤謙太と申します。何分、若輩者ですがご指導ご鞭撻の程、宜しくお願い致します。

一昨年前に父から来年創業70年を迎える会社

の3代目を引継ぎました。

重責を感じ悪戦苦闘している矢先、今年、まさかの組合理事長就任。

会社も組合(創設・法人化は日本最古)も歴史が長く後継者として先代からの会社や組合に対する「思い」を引継ぎ、時代の早い流れや色々な転轍を乗り越えて新しいかたちを創り続けたいと思います。

後継者として今、ここに自分が存在できる事に感謝し、大変な状況をありがたく受け止めて、使命感を持って「思い」を「重い」と思わぬように日々精進していきたいと思っています。

そしていつの日か全国の若手後継者の皆さんで語り合えたらと思います。

第 18 期 第 6 回理事会報告

日 時：平成 29 年 4 月 27 日（木） 11：00 ～ 16：30

場 所：東京スポーツ会館 4 階 会議室

<報告事項>

1. 理事長報告

- ・ [4 月 26 日] 販売促進活動懇談会（東京）を行ない、JSERA としての要望を伝えました。
- ・ 今回発行されたリポートの理事長挨拶を一新し、クロスワードパズルを作成しました。ぜひ、挑戦してください。

2. 委員会報告

<活性化委員会>

美馬委員長

- ・ 5 月 15・16 日に高知県にて指定管理者を対象にスポーツ用器具管理アドバイザー講習会を実施する予定。
- ・ 7 月 11・12 日静岡県、8 月 22・23 日新潟県、9 月 12・13 日埼玉県にて講習会を実施する予定。
- ・ 今後、卸組合を対象に大阪・東京にて講習会を開催予定。
- ・ オリンピックマークの使用について、(株)アシックスに交渉中。細かい規定があるため、難航している。

<共生委員会>

角前委員長

- ・ 4 月 26 日東京にて第 10 回販売促進活動懇談会を開催。メーカ・卸 15 社 17 名に出席頂き、昨年の懇談会で課題となった配送方法と費用の現状・ボール及びシャトルの現状と今後の見直し・体育器具カタログについての報告をし、その後体育器具の安全に向けた販売強化について懇談した。

<広報委員会>

武宮委員長

- ・ JSERA リポート 78 号（4 月 20 日発行）発行。
- ・ 仲間の動き“3 代目の経営者”をシリーズ化する。3 代目の経営者を紹介して欲しい。

<事業委員会>

関口委員長

- ・ ポンチョの売上枚数が 3 月末までで 2,600 枚。
- ・ 静岡県スポーツ用品商業協同組合より推奨品販売の提案があり、理事会へ議案提出。

<会計>

辻川理事

- ・ 近年事務局で行う事務作業が増えている。事業費の見直しをお願いしたい。

<総務委員会>

土赤専務理事

- ・ 組合員名簿を発行。今後、2 年又は 3 年に 1 回発行したい。

<審議事項>

1. 全国大会（東京都）の件

- ・ 東京都の佐藤昌一郎理事長より資料を基に説明があった。
- ・ 観光は行なわないが、プラン紹介はする。
- ・ 東京主催懇親会（前夜祭）を予定している。前泊については、個々に予約していただく。
- ・ 今回は東京という事もあり、メーカ・卸の出席者で宿泊をしない方が多いのではないかと。宿泊の有無で料金を分けるか再検討する。
- ・ 研修会第 1 部はスポーツ庁長官の鈴木大地氏の講演を予定。
- ・ 第 2 部についてはロンドン五輪メダリストの寺川 綾氏の講演を予定しているが講演とディスカッションとし、レディスフォーラムを兼ね

られるといい。寺川氏と相談。

- ・ 当日のスケジュールについては、ホテルの会場設営等の都合と合わせ再検討する。
 - ・ JSERA 年間スローガンは、次回理事会にて決定する。（基本的な部分は全員一致で承認）
- #### 2. 全国理事長会議の収支報告の件
- ・ 資料の通り。（全員一致で承認）
- #### 3. 次期全国理事長会議日程の件
- ・ 今期と同じ“ニューオーサカホテル”で開催することに決定。
 - ・ 日程は 2 月 5 日全国理事長会議、6 日 JSEC 連絡会議及び三大大会伝達会議。
 - ・ 大阪見本市は 2 月 6・7 日開催。（全員一致で承認）

4. ボールを贈ろう事業の件

- ・ 昨年と同様で各県への補助金は JSERA と卸組合からで 17,000 円とする。（全員一致で承認）

5. 会員承諾について

- ・ 愛媛県スポーツ用品協同組合を会員として承諾する。（全員一致で承認）

6. 事業費の見直しについて

- ・ 本年 4 月分より見直し改定する。（全員一致で承認）

<協議事項>

1. ガソリンカードについて

- ・ 長年数店のみが扱っており、改めて各ブロック大会に於いて、取扱説明をする。
- ・ 詳しくは直接対応。

2. 全国スポーツショップ対抗軟式野球大会について

- ・ 吉川達雄氏（BSO 株式会社）・砂原 元氏（(公社) 全国野球振興会）にお越しいただき説明を受けた。
 - ・ 1 県 3 店までという事だが地区ごとで共同でしたら納得しやすいのではないかと。
 - ・ 審判は地域によるが、2 ～ 4 人制。手配はプライドジャパンが行う。
 - ・ 参加費は 1 回の支払いのみ。旅費についてはスポンサー次第。
 - ・ 日曜日を中心に試合を行う。
 - ・ 90 分 7 イニング又は、球場の規定。
 - ・ 大型店とはタッグを組む予定はない。
 - ・ アンケートを実施させてほしい。費用は BSO が負担する。
 - ・ (2 名が退席後協議)
 - ・ 協力は出来るが、冠名や後援は難しいのではないかと。
 - ・ 各都府県の理事長あてのアンケートならいいが内容の確認が必要。
 - ・ 各都道府県へどの様に案内するのが課題。
 - ・ 各ブロックで早急に聞き取り協議し、次の 7 月理事会で審議決定する。
- #### 3. JSERA 推奨規定について
- ・ 近年 JSERA で取り扱ってほしいと色々な商品が持ち込まれてきている為、JSERA 推奨規定を設ける事とした。
 - ・ (草案に基づき JSERA 推奨規定を決定した)
- #### 4. JSERA 推奨審査（2 件の対象商品）
- ・ バランスオーバーシューズ

判断材料がパンフレットしかない事、申請していただいた静岡県組合としての実績がまだない事、室内用だが類似品がある事、安全面等々の理由で保留とする。

- ・シースカイ商品
現在、8店が取り扱っているが、商品に耐久性があるためか販売実績が乏しく商売につながりにくい。推奨しない事とする。現在取り扱っている8店へはきちんと対応をする。

第18期 第7回理事会報告

日 時：平成29年7月6日（木） 11：00～16：30

場 所：東京スポーツ会館4階 会議室

<報告事項>

1. 理事長報告

- [5月9日] 近畿ブロックにてティーボール初級認定講習会実施
- [5月15～16日] 高知県にてスポーツ用器具管理アドバイザー講習会実施（施設管理者対象）
- [6月5日] JSEC、NESと京都にて面談
- [6月7日] 中部ブロック総会（福井県）出席
- [6月20日] 北海道・東北ブロック総会（山形県）出席
- [7月3日] 全運団連・スポーツ用品公正取引協議会総会 出席
- [7月4日] アシックスジャパン 西前社長訪問
橋本聖子顧問 訪問

2. 委員会報告

<活性化委員会>

美馬委員長

- ・施設管理者を対象にスポーツ用器具管理アドバイザー講習会（15名）を高知県で実施。出席者から「新たな知識が増え、実となる講習会であった。」と、喜びをいただいた。また、5月30日付の地域新聞には、体育館フロア事故についての記事が掲載された。すぐさまアドバイザー認定者へメールにて情報発信。
- ・今後の講習会予定は、静岡県（7月11・12日）、新潟県（8月22・23日）、埼玉県（9月12・13日）、大阪卸（11月後半）です。
- ・東京オリンピックマーク入りスタッフ用ユニフォームは実現に向け交渉中。
- ・ボールを贈ろう事業は全ての都道府県での実施を願いたい。

<共生委員会>

角前委員長

- ・軟式野球ボール規格変更による新しいボールの発売はM号（一般・中学生用）は本年10月、J号（学童用）は、平成30年秋頃の予定。新規格ボール発売に向けて、メーカーと8月28日に大阪にて懇談を行う。

<広報委員会>

武宮委員長

- ・JSERA リポート79号（11月20日発行）発行予定。
三代目社長の心意気、三大大会報告、ショッピングバッグ案内、シースカイ商品取り扱い変更について等を予定。

<事業委員会>

関口委員長

- ・三大大会表敬訪問時にショッピングバッグ申込書を配布。
- ・ポンチョに追加企画あり、提案内容を確認の上進めていく。

<会計>

辻川理事

- ・今期は経費の見直しを重点に行ってきた。

<総務委員会>

土赤専務理事

- ・全国大会の準備。

<審議事項>

1. 今年度決算見込みの件

- ・資料を基に辻川理事より決算見込みの説明を受ける。

①組合員名簿作成費として印刷費に明記。

- ・次年度に向けた経費見直しについて検討していく。

①事業収入の見込みについて

（全員一致で承認）

2. 全国大会（東京都）の件

- ・全国大会（東京都）の主な日程及び内容の確認。
- ・功労者表彰の受賞者推薦は原則各組合1名だが、2名推薦の場合は、前例に基づいて翌年の権利は無いものとする。
- ・功労者表彰の受賞者への記念品は、例年通り宮城県の（株）藤崎に依頼し、今年はカタログギフトにする。
- ・JSERA 年間スローガンは8案の中から「個性、と「創造、で時代が求める新しい流れを！」に決定。（全員一致で承認）

3. 全国軟式野球大会の件

- ・各ブロック代表理事よりブロックでのミーティング状況を報告。
- ・プライドジャパン事務局から直接各都道府県事務局へ説明をしてもらう事とした。
- ・JSERA からは各組合へ事前とその旨について通達をする。（全員一致で承認）

3. 全中・インターハイ・国体 陣中見舞い激励訪問の件

<訪問担当者>

- ・インターハイ
宮城・・・早川理事
山形・福島・・・関口副理事長
- ・全中
福岡・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄・・・武宮副理事長
- ・佐賀・長崎・・・平川理事
- ・国体
愛媛・高知・・・美馬副理事長
- ・手土産持参。領収証は、JSERA 事務局へ。（全員一致で承認）

<協議事項>

1. その他

- ・オリジナルショッピングバッグチラシ・・・新たにオリジナルショッピングバッグのチラシを作成し配布したいとの申し入れが（有）淡路よりあった。目安になる金額の記載・支払方法（分割）等を再検討。また、このチラシをJSERA ショッピングバッグの配送時に同梱する。
- ・JSERA ショッピングバッグ・・・デザインを変更してはどうかとの意見が出された。
- ・ポンチョ・・・スタッフ用として（株）テクノスナカタから新企画の提案があった。メール配信・リポート11月号で周知する。
- ・シースカイ商品・・・取り扱い変更について、リポート11月号で周知する。

第19期 第1回理事会報告

日 時：平成29年9月7日（木） 11：00～16：30

場 所：東京スポーツ会館4階 会議室

<報告事項>

1. 理事長報告

- ・[7月11・12日] スポーツ用器具管理アドバイザー講習会（静岡県）
- ・[8月22・23日] スポーツ用器具管理アドバイザー講習会（新潟県）
- ・[8月28日] ボールメーカーと懇談
- ・[9月4日] 中部卸との懇談
- ・[9月6日] スポーツ用品公正取引協議会訪問
羽田野監事入院見舞い
（武宮副理事長・美馬副理事長同行）
- ・[9月7日] POSレジについて（株）プラネット
の宮本氏と懇談

1. 各委員会報告

<活性化委員会>

美馬委員長

- ・スポーツ用器具管理アドバイザー認定者は194社239名。
- ・11月29・30日に大阪卸対象の講習会開催を予定している。
- ・今後、神奈川県や山口県が開催を希望している。

<共生委員会>

角前委員長

- ・規格変更による新しい軟式野球ボールを一部のスポーツ店がeコマースで予約乱売している実態をボールメーカーは把握できていないようでした。
- ・ボールが規格変更されるためマシン調整が必要である事の情報提供を再度すべき。

<広報委員会>

武宮委員長

- ・JSERA リポートを11月20日に発行。
- ・国体・総体・全中大会の原稿及び写真を依頼している。

<事業委員会>

関口委員長

- ・ショッピングバッグについて値上げ申請が届いている。
- ・全国大会に於いて販売促進商品案内資料を配る。

<総務委員会>

土赤専務理事

- ・第18期全国大会成功に向けて取り組んでいる。

1. インターハイ・全中の売店結果報告

- ・インターハイ種目会場によって、取り決め事項の違いがあり困惑した。
- ・全中大会の競技種目によっては、メイン会場で無い売店もあり成果が出なかった。

<審議事項>

1. 決算・事業報告・事業計画・予算の件

決 算

- ・資料を基に辻川理事より説明。前日の会計監査実施の報告。

事業報告

各委員会、資料を基に補足・修正をした。

事業計画・予算の件

資料を基に説明があり、経費節減について話し合われた。（全員一致で承認）

2. 全国大会（定時総会）東京大会の件

- ・定時総会の役割分担を決めた。

功労者表彰の件

- ・資料の16名を表彰する。
- ・感謝状贈呈式には全員壇上に上がり、全中・総体については陸上競技開催県（山形県と熊本県）が代表で受け取る。

記念品の件

- ・カタログギフトに決定し宮城県の（株）藤崎に依頼する事への確認をした。（全員一致で承認）

3. JSERA 推奨品について

- ・JSERA 推奨品として保留にしていたバランスオーバースューズは正規代理店からの購入が可能となったため、JSERA としては取り扱わない事とした。（全員一致で承認）

<協議事項>

1. 委員会の運営について

- ・現在、スポーツ用器具管理アドバイザー講習会は活性化委員会に属しているが、今後分離する事も視野に入れてみてはどうか。また、各ブロックに講習会委員を配置してはどうか。一般組合員を委員に入れてみては。特別委員会として形作ってはどうか。等々の意見が出され、今後検討していく。
- ・レディス部会については、全国大会の前夜祭の後に話し合いの場を設ける。

2. 体育の日ボールを贈ろう事業の件

- ・計画書の提出状況を確認。まだ、出されていない県が若干あるので実施を促していく。
- ・卸組合からの協力もあり、組合活動の一環である事を認識してもらう。

3. スポーツ用器具管理アドバイザーの現況報告と今後について

- ・認定者が239名となり、講習会開催に向け取り組んでいる。
- ・協議事項その1にて今後の運営について協議内容を明記。

4. その他

- ・ショッピングバッグデザイン変更及び価格変更の件
淡路より原油価格の高騰、配送費などの理由により値上げの要請があった。
・A セット 12,900 円 → 14,500 円
・C セット 12,900 円 → 13,000 円
・AC セット 19,000 円 → 20,000 円
また、A セット（シューズタイプ）の在庫が、来年の春まで持つかどうか。これを機にデザイン変更をする事にし、デザイン案12の中から選定。
- ・スタッフビブスのチラシができたので総会時に配布する。
- ・ホームページの組合員情報について、現在は県名と店名のみの掲載。準備が出来次第、店名、代表者、住所、電話、FAX を掲載する。掲載後、何らかの申し出があったお店には個々に対応する。

「スーパートリノ」の販売について

JSERA 推奨規定に基づき、理事会に於いて最終検討させていただいた結果。

平成29年8月1日より、上記商品につきましてはヒロウン(株)からの仕入れとなりました事、ご連絡させていただきます。何卒宜しくお願い申し上げます。



第 19 期 JSERA 理事会・役員会 (行事日程)

年	月	日	曜日	JSERA 行事	理事会	役員会
29	8			全中 (九州) インターハイ (東北)		
	9	6	水	(会計監査)		第 1 回
		7	木		第 1 回	
	10	上旬		国体 (愛媛) 体育の日活性化 (各県組合) 「ボールを贈ろう運動」		
		11	水	関東甲信越ブロック大会 (東京) 東武ホテルレバント東京		
		12	木	JSERA (定時総会) 全国大会 (東京) 東武ホテルレバント東京	第 2 回	
	11	1	水			第 2 回
		2	木		第 3 回	
		7	火	九州ブロック大会 (鹿児島) 鹿児島サンロイヤルホテル		
		14	火	近畿ブロック大会 (奈良) 橿原ロイヤルホテル		
		28	火	中国ブロック大会 (山口) 大谷山荘		
	12					
30	1	6	土	関西新年挨拶会		
		7	日	東京新春年賀の会		
		8	月	名古屋新年挨拶会		
		10	水	北陸 3 県新春賀詞交歓会 (富山)		
	2	5	月	JSERA 全国理事長会議 (午後) ニューオーサカホテル	第 4 回	
		6	火	JSEC 連絡会議 (午前) 三大会伝達会議 卸役員との懇談会 (午後 見本市会場)		
		6・7	火・水	大阪卸見本市 (インテックス大阪)		
	3					
	4	25	水	正常化対策会議 (東京)		第 3 回
		26	木		第 5 回	
	5					
	6	6	水	中部ブロック大会 (静岡) パレスホテル掛川		
		20	水	北海道東北ブロック大会 (福島)		
	7	4	水			第 4 回
		5	木		第 6 回	
	8			全中 (中国) インターハイ (東海)		
	9	5	水	(会計監査)		第 1 回
		6	木		第 1 回	
	10			国体 (福井)		
		23	火	JSERA (定時総会) 全国大会 (福島) 郡山ビューホテルアネックス	第 2 回 第 3 回	

● 編集後記 ●

去年の今頃はやっと手に入れたチケットを握りしめて札幌ドームへ足蹴く通った。子供の頃テレビ中継は巨人戦ばかり。おのずと道民は巨人ファン。

そして日本ハムファイターズが本拠地を札幌に移転して 10 数年こんなにも地元になつたチームになるなんて想像出来ただろうか？

先日少年野球大会の閉会式にメーカー協賛からのファイターズ選手と撮影ができるチケット

を副賞に差し上げたところ周りの人たちから“おー”と大歓声(トロフィーより喜んでくれた。)

やっぱり地元でプロ野球チームがあるとこんなサービスができるんだ。

残念ながら少子化の影響で子供の数は減っているけど来年は清宮君効果(?)を期待して少しでも野球に興味を持ってくれること、期待してメーカー、問屋、小売店の連携プレーで来年も乗り切っていこう!! (R.Y)